

姫路市新美化センター整備基本計画（案）に関する 市民意見（パブリック・コメント）の募集結果等について

1 市民意見の提出状況

- (1) 案 件 名：姫路市新美化センター整備基本計画（案）
- (2) 意見募集期間：令和7年3月17日（月）～4月18日（金）
- (3) 意見提出件数：14通35件

2 市民意見の内容

項目	件数
「第1章 整備基本計画の背景及び目的」に関するもの	3
「第2章 ごみ処理の現状及び課題の整理」に関するもの	1
「第3章 計画条件」に関するもの	1
「第4章 最新の処理技術等の動向」に関するもの	1
「第5章 処理方式」に関するもの	3
「第6章 環境保全目標」に関するもの	2
「第7章 付加機能等」に関するもの	7
「第8章 施設計画」に関するもの	5
「第9章 事業計画」に関するもの	2
姫路市新美化センター整備基本計画（案）全体に関するもの	7
その他	3
合 計	35

3 市民意見により修正した項目

2件

4 提出された市民意見及び意見に対する市の考え方

番号	市民意見（要旨）	市の考え方	頁	反映
第1章 整備基本計画の背景及び目的				
1	エコパークあぼしの老朽化を考慮し、粗大ゴミも受け入れ可能な、エコパークあぼしと同等に機能する施設にすれば、将来的に安心できるのではないかと。	エコパークあぼしは改修などにより施設の長寿命化を計画していません。新美化センター整備後は、エコパークあぼしとの2施設体制となることを踏まえ、粗大ごみは再	1	

2	粗大ゴミについては地域の粗大ゴミの日になかなか出せず、かといってエコパークあぼしは遠いので、新施設は飾磨となるとのことで持ち込みやすいと思う。	資源化設備が整っているエコパークあぼしで引き続き一括して受け入れ、効率的に再資源化を行うこととし、新美化センターは可燃ごみを処理する施設として計画しています。	1	
3	エコパークあぼしなどゴミ処理場があることも知らなかったのもっと大々的に発信していくべきだと感じた。	ゴミ処理の現状などの情報発信の方法について検討してまいります。	1	
第2章 ごみ処理の現状及び課題の整理				
4	資料が細かく多く分析されている。レーダーチャートはわかりにくい。	P8にレーダーチャートの見方を補足しました。	8	○
第3章 計画条件				
5	ゴミの分別収集により可燃ごみの燃焼カロリーが足りず油脂等を添加して焼却するとの本末転倒な事象が起きているとの事を耳にしているが今回の新設備でこの様な問題が無いようにしてほしい。	資源循環の促進に取り組みつつ、適正な処理を進めてまいります。	21	
第4章 最新の処理技術等の動向				
6	ゴミ処分の流れで最終的に堆肥他に活用されている事を理解出来て良かった。	ご意見を参考とさせていただきます。	47	
第5章 処理方式				
7	比較検討を見た。リスクはさまざまあるようだが、個人的には「メタンガス化・焼却方式」に好感を持っている。お金も維持も大変だとは思いますが、回収したメタンガスを売ったり、より高効率が可能で発電に利用したりすることで、長い目で見て、収入面・環境面で優れ、啓発や姫路市の取り組みの良い印象にならないだろうか。	処理方式につきましては専門家を交え、安全性や経済性、導入実績等を総合的に判断した結果、焼却方式（ストーカ式）と決定しました。ご意見は今後の参考とさせていただきます。	64	
8	設備の維持管理、定期整備、故障トラブル等を考慮し、ゴミクレーン3基や焼却炉3炉にするなど、複数機	新美化センターとエコパークあぼしの2施設体制とすることも踏まえ、3炉構成と2炉構成を比較検	69	

	(基)とし、決して止めない持続可能な施設にしてほしい。	討した結果、建設コストや維持管理などの面で2炉構成となりました。また、クレーンに関しては、想定処理量等を考慮し、2基を想定しています。		
9	焼却により発生した焼却残渣や破碎ごみ類等の不燃残渣の一部は、埋め立てにより最終的に処理をされていますが、それら不要廃棄物を適切に貯留し、安定化を図る施設である最終処分場を市内に設置し、自ら処理すべきと考える。	現在、焼却残渣(主灰、飛灰)は、大阪湾フェニックス事業の神戸沖埋立処分場で、不燃ごみの一部は市内の石倉最終処分場などで埋立処分しています。 今後については、それぞれの処分場の残余容量等を考慮しながら検討してまいります。	71	
第6章 環境保全目標				
10	ごみの焼却に関しては、ばい煙規制以上の能力をもつなど環境に配慮した施設が必要であるとする。	周辺地域の生活環境の保全を重視し、関係法令等の基準値又はより厳しい値を設定します。	72	
11	全てにおいて排出基準が現在より下がる予定なのはよいが本当にそうなる事を願う。	基準値はエコパークあぼしや他都市の数値を基に設定しており、十分に実現可能な数値であると考えています。この基準値以下となるよう厳密に管理し、運営してまいります。	77	
第7章 付加機能等				
12	新予定地について、網干と同じく海岸に予定されているが、浸水や大規模停電対応も良く検討されている。ただ、最近の気象で想定外や過去に無い大きな事象が発生しており、原発ではないが電源回りを3重並びに屋上へ考慮されてはどうか。	電源設備等重要設備については想定浸水深よりも高い階に設置するなど対策を行う予定です。大規模な災害等が発生した際にも引き続き施設が運営できるように対策を行ってまいります。	95	
13	災害時に大量に出るごみや廃棄物等の仮置場としても利用できるように、施設への道路等考えて欲しい。	新美化センターは災害廃棄物の仮置場としての利用を予定しており、災害時に効率的に運営できるように関連部署と連携してまいります。	96	

14	見学通路もあるということだが、なかなか大人だけで行こうとはならず、子供の勉強のためなら、と思うので子供が見てもわかりやすい表示や説明があったらと思う。	幅広い世代にわかりやすい表示や説明に努めます。	108	
15	小さい頃からの環境学習は大切だと思うので、学校単位だけでなく個人やグループでも見学ができると良いと思う。	見学者について記載はしていませんが、個人やグループの見学も想定しています。	108	
16	処理施設は大きなスペースを必要とすることから、大規模地震発生時の避難場所公園として活用できればと考える。	多面的価値を創出する廃棄物処理施設としての整備を検討しており、その一つとして避難所機能の検討も行っています。	109	
17	宇都宮市などはどう考えて取り組まれているのか気になる。	ご意見を参考とさせていただきます。	110	
18	ゴミ処理場の余熱利用として、温水プールや銭湯の施設が思い浮かぶ。市営の施設が出来れば、市民は喜んで利用し、収入も多いと思う。	発生する余熱については無駄にすることが無いようその利用方法等を検討してまいります。	116	
第8章 施設計画				
19	津波、災害又は設備の故障、ゴミの不適正搬入等により、焼却炉稼働停止を余儀なくされ、機能不全に陥った場合など、ゴミが処理できずゴミピットから溢れる状況を想定し、ピット容量を規定以上にするか、予備のゴミピットを設置しては如何か。	ピットについては運転停止時、緊急停止時における収集の対応等を考慮し、7日分以上の容量を確保することとしています。 また、敷地内に災害廃棄物等ヤードの整備も想定しています。	120	
20	周辺を市民が1周できるウォーキングゾーンなどがあると親しみをもちやすいと思う。給水設備もほしい。	ご意見を参考とさせていただきます。	130	
21	処理施設の建屋外観の壁には太陽光発電のパネルを貼るなどの工夫があり、従来の処理施設のイメージを払拭するような建屋外観にしてほしい。「これが処理施設か？」と思えるような斬新なイメージとしてほしい。	ご意見を参考とさせていただきます。	139	

22	ゴミ収集車やゴミピット内で、時折火災が発生していると聞いているため、作業員の方々が安全・安心して働けるように、万全なる安全対策を講じてほしい	<p>ゴミピット内の火災対策としては、自動火災検知装置と連動した放水銃を設置する予定であり、万が一の火災に備え、消火活動の妨げとならないよう排煙設備の導入等も検討します。</p> <p>また、火災の原因となるような廃棄物が混入しないようごみの分別についての取り組みを継続してまいります。</p> <p>P141 第8章 (2) 機械設備計画 3) 建設設備計画 表 8-14 内に放水銃を明記しました。</p>	141	○
23	排熱（余熱）利用、太陽光発電などの再生エネルギーを考慮したものとしてほしい。	<p>新美化センターでは、高効率ごみ発電など、より効率的にエネルギーを利用するとともに、太陽光発電設備や雨水利用、緑化率向上、省エネ機器の選定の徹底による地球温暖化対策を積極的に検討し、建物で必要とするエネルギー消費量の40%以上削減（ZEB Oriented以上）を目指します。</p>	143	
第9章 事業計画				
24	ゴミ処理は重要なことなので多少予算を多くしても応援する。	ご意見を参考とさせていただきます。	152	
25	一括受注を選ばれたのは部門間の連携も上手く行ってよいのかなと思う。	ご意見を参考とさせていただきます。	155	
姫路市新美化センター整備基本計画（案）全体				
26	市民生活に直結する大事な施設であるため、最初にコスト度外視で最高レベルの設備・性能を設計に盛り込んでほしい。	<p>財政的な観点からコスト度外視というわけにはいきませんが、一定水準以上の仕様を担保したうえで、民間事業者からの提案を求め、高レベルの設備・性能の施設としてまいります。</p>	—	
27	現有処理施設の老朽化や、増大する可燃ごみ等への対応などを考慮	令和14年稼働へ向けて着実に進めてまいります。	—	

	し、新美化センターの建設は最重要課題で進めてほしい。			
28	将来的に姫路市を含めた人口の減少は進むものの、利便性を考えた生活スタイルからくる廃棄物の増大は避けられず、廃棄物量は増大するものと思われる。 処理施設の近隣住民の合意は必要であるが、建設を進めてほしい。	現時点では、ごみ減量化や資源循環促進の取り組みにより、一般廃棄物の排出量は減少傾向となっています。将来に向けても取り組みを継続してまいります。 新美化センターの整備事業につきましては、近隣住民の方のご理解をいただきながら着実に進めてまいります。	—	
29	姫路城だけではなく新美化センターを市外にPRできるようなものであれば素晴らしい。	最新の設備を導入するなど対外的にPR出来るような施設を目指します。	—	
30	特になし	肯定的なご意見として、参考とさせていただきます。	—	
31	姫路のまちをこれからも美しく保ち続けるために一人一人が意識をした取り組みが必要だと感じた。	持続可能な社会の実現へ向けて姫路市全体で取り組みを進めてまいります。	—	
32	新しい施設を作るのなら、安全で特色のある施設を作ってほしい。	ご意見を参考とさせていただきます。	—	
その他				
33	整備は必要であり理解できるが、網干区に片寄り過ぎては困る。東の地区は教育施設や立派な漁業施設ができ不平等感がある。西部地区にはレジャー施設や空港、ホテルを検討して欲しい。	ご意見を参考とさせていただきます。	—	
34	廃棄の仕組みについては専門的で分からないが、介護のゴミがいつも大変で、それを回収して頂き感謝している。	ご意見を参考とさせていただきます。	—	
35	他の自治体では有料だけど自宅前まで取りに来てくれる制度があると聞いた。高齢になればそういう制度があったら便利だと思う。	本市では、一定の要件を設けた上で、可燃ごみを出すことが難しい高齢者等を対象に、自宅まで収集に伺う「ふれあい収集」を実施しています。	—	

5 市民意見提出手続きの実施結果に基づく修正箇所（新旧対照表）

番号	上段：旧（修正前） 下段：新（修正後）	頁
4	<p>旧</p> <p>図 2-5 一般廃棄物処理システム評価（指標値によるレーダーチャート）</p>	8
	<p>新</p> <p>図 2-5 一般廃棄物処理システム評価（指標値によるレーダーチャート）</p>	

19	旧	<p>表 8-14 建築設備の構成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建築設備</th> <th>構成</th> <th>設備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">建築機械設備</td> <td>空調和設備</td> <td>エアコン、室外機、冷媒配管等</td> </tr> <tr> <td>換気設備</td> <td>換気扇、熱交換器等</td> </tr> <tr> <td>給排水衛生設備</td> <td>給水設備、給湯設備、衛生器具、排水設備、各種配管</td> </tr> <tr> <td>消火設備</td> <td>消火栓、消火器、連結送水管、消火管</td> </tr> <tr> <td>昇降機</td> <td>乗用エレベータ、人荷エレベータ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">建築電気設備</td> <td>動力設備</td> <td>動力制御盤、操作盤、配線等</td> </tr> <tr> <td>照明コンセント設備</td> <td>照明器具、誘導灯、コンセント</td> </tr> <tr> <td>自動火災報知設備</td> <td>受信盤、感知器、配線等</td> </tr> <tr> <td>通信設備</td> <td>電話、ルータ、コネクタ・配線等</td> </tr> <tr> <td>その他設備</td> <td>拡声放送設備、インターホン、テレビ共聴設備、時計設備、避雷設備、警備設備</td> </tr> </tbody> </table>	建築設備	構成	設備内容	建築機械設備	空調和設備	エアコン、室外機、冷媒配管等	換気設備	換気扇、熱交換器等	給排水衛生設備	給水設備、給湯設備、衛生器具、排水設備、各種配管	消火設備	消火栓、消火器、連結送水管、消火管	昇降機	乗用エレベータ、人荷エレベータ	建築電気設備	動力設備	動力制御盤、操作盤、配線等	照明コンセント設備	照明器具、誘導灯、コンセント	自動火災報知設備	受信盤、感知器、配線等	通信設備	電話、ルータ、コネクタ・配線等	その他設備	拡声放送設備、インターホン、テレビ共聴設備、時計設備、避雷設備、警備設備	141
建築設備	構成	設備内容																										
建築機械設備	空調和設備	エアコン、室外機、冷媒配管等																										
	換気設備	換気扇、熱交換器等																										
	給排水衛生設備	給水設備、給湯設備、衛生器具、排水設備、各種配管																										
	消火設備	消火栓、消火器、連結送水管、消火管																										
	昇降機	乗用エレベータ、人荷エレベータ																										
建築電気設備	動力設備	動力制御盤、操作盤、配線等																										
	照明コンセント設備	照明器具、誘導灯、コンセント																										
	自動火災報知設備	受信盤、感知器、配線等																										
	通信設備	電話、ルータ、コネクタ・配線等																										
	その他設備	拡声放送設備、インターホン、テレビ共聴設備、時計設備、避雷設備、警備設備																										
	新	<p>表 8-14 建築設備の構成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建築設備</th> <th>構成</th> <th>設備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">建築機械設備</td> <td>空調和設備</td> <td>エアコン、室外機、冷媒配管等</td> </tr> <tr> <td>換気設備</td> <td>換気扇、熱交換器等</td> </tr> <tr> <td>給排水衛生設備</td> <td>給水設備、給湯設備、衛生器具、排水設備、各種配管</td> </tr> <tr> <td>消火設備</td> <td>消火栓、消火器、連結送水管、消火管、放水銃</td> </tr> <tr> <td>昇降機</td> <td>乗用エレベータ、人荷エレベータ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">建築電気設備</td> <td>動力設備</td> <td>動力制御盤、操作盤、配線等</td> </tr> <tr> <td>照明コンセント設備</td> <td>照明器具、誘導灯、コンセント</td> </tr> <tr> <td>自動火災報知設備</td> <td>受信盤、感知器、配線等</td> </tr> <tr> <td>通信設備</td> <td>電話、ルータ、コネクタ・配線等</td> </tr> <tr> <td>その他設備</td> <td>拡声放送設備、インターホン、テレビ共聴設備、時計設備、避雷設備、警備設備</td> </tr> </tbody> </table>	建築設備	構成	設備内容	建築機械設備	空調和設備	エアコン、室外機、冷媒配管等	換気設備	換気扇、熱交換器等	給排水衛生設備	給水設備、給湯設備、衛生器具、排水設備、各種配管	消火設備	消火栓、消火器、連結送水管、消火管、放水銃	昇降機	乗用エレベータ、人荷エレベータ	建築電気設備	動力設備	動力制御盤、操作盤、配線等	照明コンセント設備	照明器具、誘導灯、コンセント	自動火災報知設備	受信盤、感知器、配線等	通信設備	電話、ルータ、コネクタ・配線等	その他設備	拡声放送設備、インターホン、テレビ共聴設備、時計設備、避雷設備、警備設備	
建築設備	構成	設備内容																										
建築機械設備	空調和設備	エアコン、室外機、冷媒配管等																										
	換気設備	換気扇、熱交換器等																										
	給排水衛生設備	給水設備、給湯設備、衛生器具、排水設備、各種配管																										
	消火設備	消火栓、消火器、連結送水管、消火管、放水銃																										
	昇降機	乗用エレベータ、人荷エレベータ																										
建築電気設備	動力設備	動力制御盤、操作盤、配線等																										
	照明コンセント設備	照明器具、誘導灯、コンセント																										
	自動火災報知設備	受信盤、感知器、配線等																										
	通信設備	電話、ルータ、コネクタ・配線等																										
	その他設備	拡声放送設備、インターホン、テレビ共聴設備、時計設備、避雷設備、警備設備																										

6 その他の理由により修正した項目

(1) 修正を要した理由

番号	修正理由	頁
1	「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」の変更による。	8
2	文言の記載誤りによる。	133

(2) 修正箇所（新旧対照表）

番号	上段：旧（修正前）		頁
	下段：新（修正後）		
1	旧	<p>(2) 中間処理及び最終処分の課題</p> <p>本市の中間処理及び最終処分場の状況について、他都市と比較するため「市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツール」（環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課）を用い、本市の令和4年度実績値と人口規模や産業構造の類似する全国62市との比較した結果を図2-5に示します。</p> <p>「人口一人一日当たりごみ総排出量」と「廃棄物のうち最終処分される割</p>	8

	<p>合」については、ほぼ類似市の平均となっています。しかし、<u>「最終処分減量に要する費用」、「人口一人当たり年間処理経費」</u>は類似市の平均よりも高く、<u>「廃棄物からの資源回収率」</u>は類似市の平均を下回っており、<u>廃棄物処理費用の低減と資源回収率の向上は課題といえます。</u></p> <p>また、<u>本市の一人一日当たりごみ総排出量の推移（表 2-4）</u>をみると、平成 24 年度の 944.5g/人・日に比べ、最新の令和 4 年度は 885.3g/人・日となっており、<u>6%の減量化がされています。</u>これに対し、<u>「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」（環境省告示第 49 号、令和 5 年 6 月 30 日）</u>では令和 7 年度において平成 24 年度に対して排出量を 16%削減することとされていることから、<u>さらなる減量化が必要です。</u></p>	
新	<p>(2) 中間処理及び最終処分の課題</p> <p>本市の中間処理及び最終処分場の状況について、他都市と比較するため「市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツール」（環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課）を用い、本市の令和 4 年度実績値と人口規模や産業構造の類似する全国 62 市との比較した結果を図 2-5 に示します。</p> <p>「人口一人一日当たりごみ総排出量」と「廃棄物のうち最終処分される割合」については、ほぼ類似市の平均となっています。しかし、<u>市町合併による面積の広域化や処理施設の数が増加したことが要因で、「最終処分減量に要する費用」、「人口一人当たり年間処理経費」</u>は類似市の平均よりも高くなっています。</p> <p>また、<u>「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」（環境省告示第 6 号、令和 7 年 2 月 18 日）</u>において、<u>一般廃棄物の排出量の削減目標や一人当たりの家庭ごみの排出量の目標値が示されており、食品ロス及び使い捨てプラの削減、分別及び水切りの徹底、ごみ処理手数料の計画的な改正などのごみ減量化施策の強化に取り組む必要があります。</u></p>	

表 8-10 1日あたりの車両台数の算定結果

種別	車両凡例 (図-1)	台数		最大車種	台数根拠
		平均	最大*		
家庭系ごみ収集車両	①②	20	26	3tパッカー	既存施設実績より 想定
事業系ごみ収集車両	③	70	102	3tパッカー 4tコンテナ 車	既存施設実績より 想定
直接搬入車両	③	12	14	3t車	既存施設実績より 想定
ごみ搬入車 計		102	142		
灰搬出、薬品等搬入、 メンテナンス車両	④、⑤、⑥	2	9	10t車	既存施設実績より 想定
管理職員車両 (市職員等)	⑧	20			配置・来場職員等
運転管理職員車両 (受託者)	⑦	20			日勤：10名、交代勤 務：10名
来場者・ 見学者	普通自動車	⑧		90	既存施設実績
	大型バス			6	既存施設実績
車両台数合計		240	287		

* 既存施設の実績から搬入台数が最大となるのは月曜日

表 8-10 1日あたりの車両台数の算定結果

種別	車両凡例 (図 8-4)	台数		最大車種	台数根拠
		平均	最大*		
家庭系ごみ収集車両	①②	20	26	3tパッカー	既存施設実績より 想定
事業系ごみ収集車両	③	70	102	3tパッカー 4tコンテナ 車	既存施設実績より 想定
直接搬入車両	③	12	14	3t車	既存施設実績より 想定
ごみ搬入車 計		102	142		
灰搬出、薬品等搬入、 メンテナンス車両	④、⑤、⑥	2	9	10t車	既存施設実績より 想定
管理職員車両 (市職員等)	⑧	20			配置・来場職員等
運転管理職員車両 (受託者)	⑦	20			日勤：10名、交代勤 務：10名
来場者・ 見学者	普通自動車	⑧		90	既存施設実績
	大型バス			6	既存施設実績
車両台数合計		240	287		

* 既存施設の実績から搬入台数が最大となるのは月曜日